



# 福田っ子だより

福田小学校だより 第5号 2023年11月1日発行

## 会礼:宮本校長の話

### 「温かい心」・「優しい思い」 勇気を出してどんどん行動

インフルエンザの閉鎖が終わり、今日からまたすべての学級がそろいました。まだ体調が良くなっていない人はお休みしていますが、早くみんなが元気になって学校生活を送ってくれることを楽しみにしています。また、その関係で準備を進めていた運動会を11月21日に延期することにしました。少し先になってしまいましたが、いい運動会ができるようにみんなで力を合わせていきましょう。



今日はうれしい話を二つ紹介します。

先日、地域の方からこんなお話を聞きました。

「この前、福田交流センターから帰る途中、自転車置き場に空き缶が落ちていました。大人の方はたくさん通っていたけど誰もそれを拾おうとはしなかった。そこに小学生と思われる2人がやってきて、落ちていた空き缶に気づき、当たり前のように空き缶を拾ってゴミ箱に入れているのを見ました。とても感心したと同時に、何もしなかった大人が恥ずかしくなりました。」という内容でした。このお話を聞いて、校長先生は本当にうれしく思いました。

もうひとつは、最近の学校内のことです。トイレのスリッパをきれいにそろえている人、具合が悪い友達やけがをした友達を励ましたり荷物を持ってあげたりしている人など、心遣いや思いやりがたくさん見られました。とても心が温かくなりました。

こうした場面から、こんな詩を思い出しました。

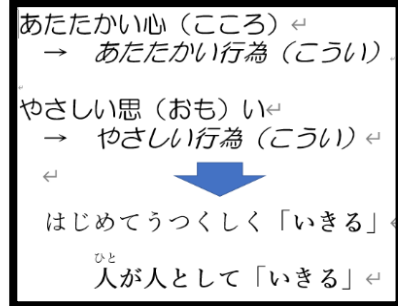
「こころはだれにも見えないけれど、  
心づかいは見える。  
思いは見えないけれど、  
思いやりは誰にも見える」

地域の方にも校長先生にも、優しい心や思いがその人の行動によって確かに見えたのです。

「心（こころ）」：みえない←  
「**心（こころ）づかい**」：みえる←  
「思（おも）い」：みえない←  
「**思（おも）いやり**」：みえる←

実は、この詩は宮澤章二（みやざわ しょうじ）さんという作詞家が作った「行為の意味」という詩がもとになっているということです。宮澤さんは、「心づかい」や「思いやり」が見える理由を「人に対する積極的な行動だ」といっています。そして、この詩はこんな風に結ばれています。

あたたかい心が、あたたかい行為になり、  
やさしい思いがやさしい行為になるとき  
〈心〉も〈思い〉も初めて美しく生きる。  
それは人が人として生きることだ。



今年も世界中でさまざまなスポーツの大会が行われました。日本人サポーターが観客席のごみを拾って、きれいにしてから帰ったということがニュースで紹介されました。世界の人たちにも、日本人の思いやりが見えたのでしょうか。温かな心や優しい思いが行動になって表れたんですね。



さあ、皆さん。自分の胸に手を当ててみてください。

温かい心・優しい思いがありますね。勇気を出して、それをどんどん行動として表してください。10月も終わりに近づき、1年のうち半分が過ぎました。これからもみんなが楽しく過ごすことのできる「思いやりと優しさのあふれる福田小学校」にしていきたいと思います。



## 【お知らせ】

◎令和5年度福田小 PTA 実践活動 ASDK 最優秀親子標語が決定しました。

A (あいさつ) すてきだね あいさつできる 福田っ子 (3年 大橋 聖・大橋和典)

S (そうじ) まどみがき キレイに見える 青い空 (3年 戸田朱理・戸田智鶴)

D (読書) どくしょして 知らない世界へ 冒険だ

(1年 本多咲心・本多僚大)



K (交通安全) ちょっと待つ 青になっても 右左

(4年 加藤勇功斗・加藤雄生夫)



## ◎奉仕作業ありがとうございました。



9月23日、PTA 奉仕作業が行われました。教室のエアコンや扇風機の掃除、グラウンドの草取りと、PTA の皆さんの御協力のおかげで福田小がきれいになりました。

ありがとうございました。

福田小 HP は、  
こちらからご覧  
いただけます。

